

校訓 **正しく 明るく 健やかに**

4月13日発行



<始業式校長式辞より抜粋>

校長 加藤 弓子

つい先日、人類は新たな一步を踏み出しました。私が生まれた年に人類が始めて月に行って以来、半世紀以上がたちましたが、今回打ち上げられた宇宙船「オリオン」は、人類史上もっとも地球から遠い地点である、月の裏側に到達したとのこと。「月にはうさぎがいて餅をついている」——そんなふうに教えられて育った私は、月の裏側のことなど考えもしませんでした。

そんな中、今日、『品中号』に乗った皆さんも、新たな旅に向けて出発します。今日から新しいスタートです。今、私はこうして皆さんと顔を合わせることができ、うれしい気持ちでいっぱいです。みなさんはどうでしょう。今は担任の先生の発表で頭がいっぱいになっているのかもしれませんが、誰もが新しいクラス、新しい仲間を期待を寄せながらも、同時に多少の不安も感じているのではないのでしょうか。でもそれは、新しい一步を踏み出そうとするとき、誰もが抱くごく自然な気持ちです。そんな皆さんに、私の大好きな言葉を贈ります。

「幸せと思える日も、努力が報われずにくじける日もある。それも現実。それでも、一生懸命に生きる日々が『軌跡』。」

みなさんもよく知っている Mrs. GREEN APPLEの大森元貴さんの言葉です。みなさんはこれまでに十数年の道を歩んできました。そして、これからまた新しい一步一步を刻んでいきます。その道のりには、楽しいことがたくさんあるでしょう。しかし、友だちとの関係で悩むこと、努力してもすぐに成果が見えないこと、そんな日もあるはずですが、そのときどきでは失敗と思えたり、悔しい思いに包まれたりすることもあるでしょう。でも、長い目で見ると、私たち一人ひとりが歩む時間に無駄なときはありません。うまくいった経験も、悔しかった経験も、すべてが私たちの未来へと続く大切な「軌跡」となっています。

私たちは、自分の軌跡を周りとは比べがちです。でも、大切なのは、「昨日より少し前に進めたか」「誰かに優しくできたか」と、自分自身の歩みを確かめていくことだと思えます。新しい学年、新しいクラスでの出会い、そして一人ひとりが新しく刻んでいく一步一步。それらすべてが、皆さんにとってかけがえのない「軌跡」となっています。

「ああ なんて素敵な日だ 幸せに悩める今日も ボロボロになれている今日も ♪」

そんな歌詞を思い出しながら、今日から一人ひとり、それぞれの軌跡を描いていきましょう。これからみなさんが歩む一步一步を精一杯応援していきたいと思えます。